

平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年4月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 秋山 真咲
 (氏名) 豊田 浩文

上場取引所 東
 TEL 03-6214-1700

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	969	△11.8	178	6.7	173	6.3	86	△55.1
21年12月期第1四半期	1,098	—	167	—	162	—	192	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	295.18	—
21年12月期第1四半期	656.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	2,141	1,076	42.5	3,112.79
21年12月期	2,196	1,012	37.6	2,824.02

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 910百万円 21年12月期 826百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	0.00	0.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	1,650	△19.2	130	△54.4	125	△56.1	65	△64.3	222.18
通期	3,500	△8.3	280	△34.7	270	△35.3	140	△55.0	478.55

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期第1四半期	309,550株	21年12月期	309,550株
② 期末自己株式数	22年12月期第1四半期	17,000株	21年12月期	17,000株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年12月期第1四半期	292,550株	21年12月期第1四半期	292,550株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、上記業績予想に関する事項は3ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、国内外での在庫調整も進み、一部には回復の兆しが見られるものの、依然として雇用情勢は厳しく、個人消費の低迷もあり、企業業績の見通しは不透明なままであります。

このような経済状況の下、「営業課題解決事業」を推進する当社グループは、「営業力強化」「業績改善」「コスト削減」「人材強化」などへの投資意欲を見せる顧客のニーズに応えるべく、SFA/CRMパッケージソフトである「eセールスマネージャー」の機能強化、業務改善サービスの強化、マーケティング、アウトソーシングを支援するBPO事業の強化などに努めてまいりました。

その結果、IT力および営業組織力を高める「eセールスマネージャー」のライセンス販売とそれにとまう開発販売は前年同期には及ばないものの当初の見込みどおり推移し、また店頭マーケティングなどのマーケティング力強化事業や営業マン育成コンサルティングなどの人材強化事業が堅調に推移したことから、第1四半期連結会計期間における売上高は969百万円（前年同期比11.8%減）となりました。損益面に関しては、本社事務所移転による家賃削減などの固定費削減効果が寄与し、営業利益178百万円（前年同期比6.7%増）、経常利益173百万円（前年同期比6.3%増）となり、四半期純利益は法人税等調整額の影響もあり86百万円（前年同期比55.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、2,141百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加150百万円、繰延税金資産の減少54百万円、差入保証金の減少138百万円などです。負債は前連結会計年度末に比べ118百万円減少し、1,065百万円となりました。その主な要因は、未払金の減少49百万円、前受金の減少35百万円などです。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ63百万円増加し、1,076百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加86百万円、少数株主持分の減少20百万円などです。自己資本比率は、42.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ150百万円増加し、1,095百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は60百万円でした。これは主に税金等調整前四半期純利益172百万円、減価償却費34百万円などの増加要因と売上債権の増加38百万円、法人税等の支払額47百万円、移転費用の支払額35百万円などの減少要因によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により得られた資金は90百万円でした。これは差入保証金の回収による収入138百万円、子会社株式の取得による支出43百万円などの結果によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増減はありませんでした。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は、利益面では当初の第2四半期連結累計期間の計画値を上回りましたが、今後の事業環境は不透明であり、現時点では平成22年2月5日発表の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,095,979	945,048
受取手形及び売掛金	469,525	430,901
商品及び製品	39,943	39,281
仕掛品	28,379	56,445
原材料及び貯蔵品	840	924
繰延税金資産	90,148	144,632
その他	39,284	40,556
貸倒引当金	△4,625	△4,625
流動資産合計	1,759,475	1,653,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,145	45,145
減価償却累計額	△7,042	△4,933
建物及び構築物(純額)	38,103	40,211
その他	270,249	270,397
減価償却累計額	△224,881	△221,741
その他(純額)	45,367	48,655
有形固定資産合計	83,470	88,867
無形固定資産		
ソフトウェア	160,702	185,170
のれん	17,275	4,488
その他	915	915
無形固定資産合計	178,893	190,574
投資その他の資産		
投資有価証券	56,684	61,604
差入保証金	53,861	192,050
破産更生債権等	10,771	207,475
繰延税金資産	608	907
その他	8,906	9,280
貸倒引当金	△10,771	△207,475
投資その他の資産合計	120,060	263,841
固定資産合計	382,425	543,284
資産合計	2,141,900	2,196,447

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	140,540	143,678
短期借入金	558,178	558,088
未払金	66,187	115,682
未払役員賞与	—	16,499
未払法人税等	27,567	46,669
前受金	114,287	149,686
賞与引当金	47,752	34,544
返品調整引当金	985	5,475
その他	103,724	104,812
流動負債合計	1,059,223	1,175,136
固定負債		
繰延税金負債	6,483	8,644
固定負債合計	6,483	8,644
負債合計	1,065,707	1,183,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	616,734	616,734
利益剰余金	△265,828	△352,184
自己株式	△263,285	△263,285
株主資本合計	913,684	827,328
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△3,037	△1,161
評価・換算差額等合計	△3,037	△1,161
少数株主持分	165,546	186,498
純資産合計	1,076,193	1,012,666
負債純資産合計	2,141,900	2,196,447

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	1,098,906	969,251
売上原価	495,954	453,749
売上総利益	602,951	515,502
割賦販売未実現利益繰入額	—	3,700
割賦販売未実現利益戻入額	—	2,878
差引売上総利益	602,951	514,680
販売費及び一般管理費	435,442	335,908
営業利益	167,509	178,772
営業外収益		
受取利息	890	231
持分法による投資利益	37	—
補助金収入	—	681
違約金収入	3,780	114
その他	790	1,573
営業外収益合計	5,498	2,600
営業外費用		
支払利息	6,296	3,336
持分法による投資損失	—	5,005
為替差損	2,795	—
その他	1,213	0
営業外費用合計	10,305	8,341
経常利益	162,701	173,031
特別利益		
投資有価証券売却益	5,690	—
持分変動利益	—	85
在庫調整勘定戻入益	36,254	—
特別利益合計	41,945	85
特別損失		
前期損益修正損	13,545	—
固定資産除却損	—	266
貸倒引当金繰入額	4,481	—
特別損失合計	18,027	266
税金等調整前四半期純利益	186,620	172,850
法人税、住民税及び事業税	1,745	25,430
法人税等調整額	△15,856	52,621
法人税等合計	△14,111	78,051
少数株主利益	8,586	8,442
四半期純利益	192,144	86,355

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	186,620	172,850
減価償却費	35,754	34,648
のれん償却額	833	762
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,952	△196,703
長期前払費用償却額	505	444
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36,887	13,167
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	—	△4,490
受取利息及び受取配当金	△890	△231
支払利息	6,296	3,336
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,690	—
持分法による投資損益 (△は益)	△37	5,005
有形固定資産除却損	—	266
持分変動損益 (△は益)	—	△85
在庫調整勘定戻入益	△36,254	—
前期損益修正損益 (△は益)	13,545	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△65,713	△38,573
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20,978	27,646
仕入債務の増減額 (△は減少)	27,200	△3,144
その他	△12,047	130,771
小計	170,983	145,669
利息及び配当金の受取額	890	231
利息の支払額	△6,325	△2,513
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△22,229	△47,552
移転費用の支払額	—	△35,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	143,319	60,450
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,034	△2,039
無形固定資産の取得による支出	△21,607	△2,924
投資有価証券の売却による収入	22,669	—
子会社株式の取得による支出	—	△43,092
差入保証金の差入による支出	△491	△270
差入保証金の回収による収入	307	138,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156	90,147
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△60,000	—
配当金の支払額	△5	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,005	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,122	333
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	94,279	150,931
現金及び現金同等物の期首残高	1,035,786	945,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,130,066	1,095,979

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当連結グループはインターネットを用いた法人向のソリューションである、コンサルティングとシステム構築、パッケージソフトウェアの開発・販売を事業の内容としており、情報サービス単一セグメントのため事業の種類別セグメント情報を記載していません。

[所在地別セグメント情報]

本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。